

ひろしま住まいづくりコンクール 2023 新築部門最優秀賞

## 向島の家 [尾道市]

[建築主] 非公表

[設計・企画立案者] 原山 大／

村上 芙美子

[一級建築士事務所 HaMAo]

Mail : [info@hamao.design](mailto:info@hamao.design)

HP : <https://hamao.design>

[施工者] 妹尾 誠

[株式会社 M-design]

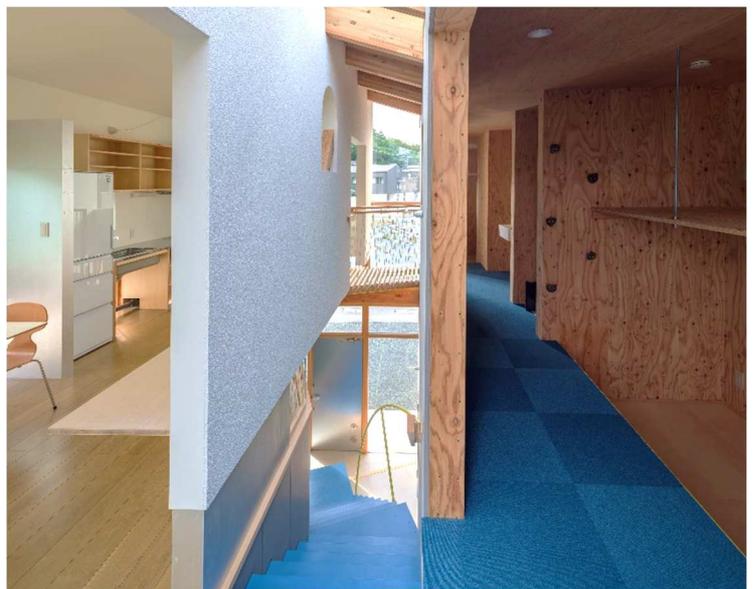
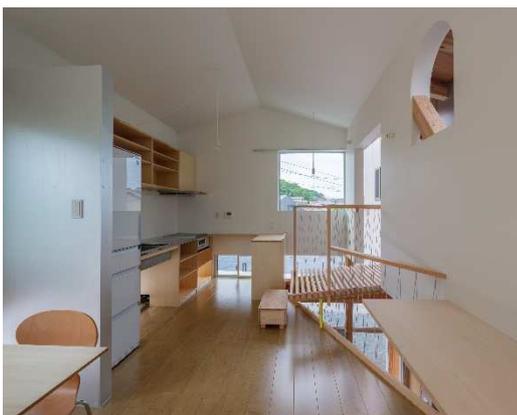
TEL : 0866-75-4248



外観。2階床レベルの大きな庇がかかる玄関。正面は子世帯、右側の里道に面するのは親世帯。

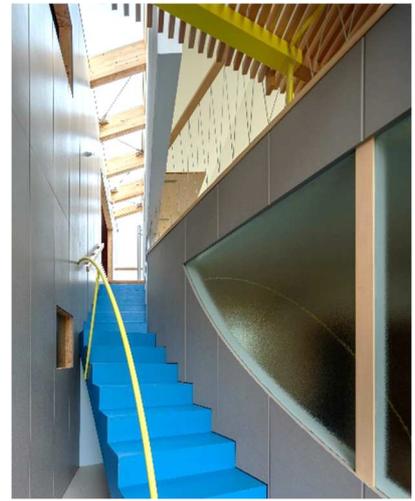
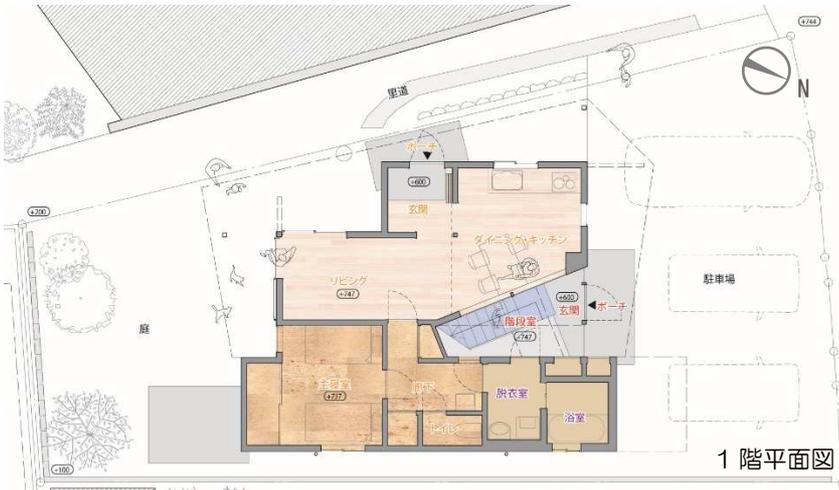


←2階子世帯リビング。コーナーウィンドウからは隣接する畑の緑を望む。左奥の浮床はTVやベンチとして使用。

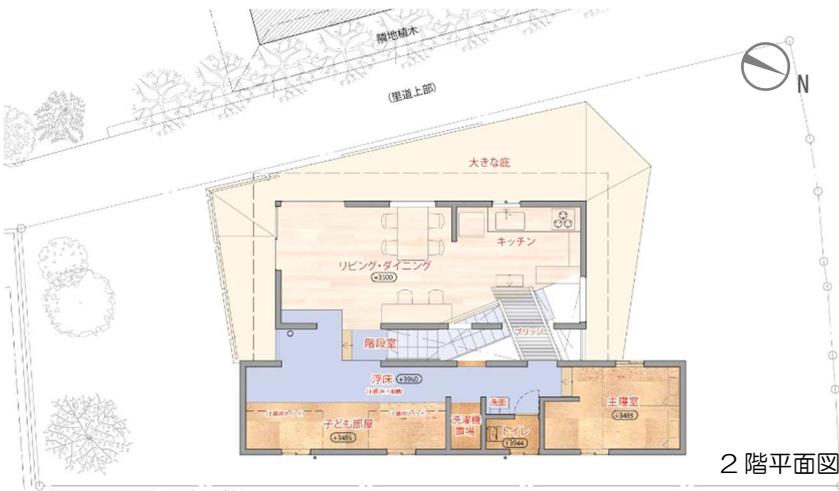


↑階段室を見下ろす。自然光の入る階段室を中心に右が寝室群 左がLDK。

←2階ダイニングキッチン。遠景を取り込む大きな窓からは、夏の住吉花火大会を展望出来る。



↑ 子世帯玄関。上部に天窓、右手には大きな円弧窓、壁の隙間からは2階リビングが見える。



◆創意工夫点 (原山 大さん/村上 芙美子さん)

山地と平地、集落の雰囲気切り換わる狭間にあり、正面の空地も将来分譲されることが予想される一方、南～西にかけては庭や畑・隣家の植木等緑の多い風景が広がっていた。周辺に散らばる様々な要素を、ボリュームの分割・屋根の勾配・大きな庇・壁面の雁行等に再構成する事で、環境を調停するような建ち方とした。上下階共にLDKと寝室群の間には天窓のある階段室を挿入することで、解り易い動線計画・明度の異なる多様な空間体験・1階親世帯と2階子世帯の程よい距離間を実現した。



夕景。日中は室内に自然光を取り込む装置だった階段室が、夜は行灯のように集落を照らす。

作品概要	
構造	木造2階建て
工事の竣工	令和5年5月
世帯構成	夫婦、子ども2人+親夫婦

◆建築主と設計・施工者の主なやり取り

[建築主さん]：ウッドショックによる価格高騰が心配です。

原山さん/村上さん：仕上げの使い分けをはっきり行い、メリハリをつけることでコスト減を図りつつ、デザインとして成立させた設計にしていきます。

現場での施工区分を明確にし施工性を上げることでコスト削減を図ります。

そのほか、床面積を抑えるため2階子世帯の平面的な収納を可能な限り減らし、廊下の床を 450mm 浮かせた事で大容量の床下収納を確保しましょう。浮き床による段差はリビングではベンチやテレビ台に、子ども部屋ではおもちゃを広げて遊べるデンとして活かすことができます。

[建築主さん]：親子世帯間の交流は、そのための部屋の様なもの必要ありませんが、生活をする中でお互いを感じられるようにしたいです。

原山さん/村上さん：中央階段室と親世帯ダイニングの間に型板ガラスによる大きな円弧窓を設け、採光と同時に生活の雰囲気をお互いを感じられるようにします。

[建築主さん]：子供が走り回れるような家がいいです。

原山さん/村上さん：2階キッチンと主寝室前の廊下を繋ぐように、格子のブリッジを設けました。1階に光を落としつつ、回遊性を確保することができます。

[建築主さん]：敷地に車3台分の駐車スペースと庭が欲しいです。

原山さん/村上さん：駐車場と庭は南北に確保する以外は難しいです。ただしそこに決めると東西に奥行の広い間取りとなってしまう、そのままでは隣家と近い東側居室は暗くなってしまうので、中央階段室にトップライトを設け採光を取りましょう。

[建築主さん]：狭さを感じたくないです。

原山さん/村上さん：2階は縁側の様に床と連続する大きな庇を伸ばし、隣地基壇の植栽や近隣の緑へと繋げています。1階は天井がそのまま外へ続くような大きな軒により、庭や里道と一体に感じられるようにしています。

これらにより上下階共に実際よりも広く感じる空間構成を実現しています。

選評 審査委員 佐々岡 由訓

回遊性をテーマに、2世帯住宅に必要な部屋を終わりのない動線上に散りばめ、構成した住まいである。敷地の周辺環境も丁寧に読み込み、計画に反映させているので、内と外、どこにいても豊かな風景が広がっている。こうした空間構成をまとめることは難しいが、2世帯の住まい手のプライバシーや距離感などが確保され、心地よさを生み出している。設計者が家族に真摯に向き合い、細部にまで検討を重ねた結果であり高く評価できる。

選評 審査委員 武田 賢治

コンパクトな2世帯住宅を成立させるため、中心部に階段や廊下を配置し、その廻りに部屋を設けた住宅である。一般に中心部に廊下等を設けると明かりが入りにくく薄暗くなりやすいが、この住宅ではここにトップライトや変化を付けた窓、床のレベル差を設けることにより明るい空間とし、この家全体を繋ぐ中心部としている。見た限りでは変化に富んだ住まいになっており、緻密な検討を繰り返したと思われるその計画力は評価に値する。